

令和6年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	ゆめしまこんてなたーみなるせいびじぎょう
1. 事業(施策)の名称	夢洲コンテナターミナル整備事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和4年 ～ 令和6年
3. 事業費(工事費)	3,195 百万円
4. キーワード	荷さばき地拡張、万博、交通対策
5. 事業概要	
大阪港夢洲コンテナターミナルは、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の中核施設として増大するコンテナの取扱量とコンテナ船の大型化に対応するため、耐震強化岸壁と一体的に機能する荷さばき地拡張整備を進めている。 現在、夢洲 CT 周辺では、道路上に入場待ち車両の滞留が発生しており、2025 年大阪・関西万博開催に伴い、さらに交通量が増大することから、交通円滑化のための対策として、荷さばき地拡張整備が急務となっている。	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b) 既往技術の創意工夫、活用 () () ()	(f) インフラの運用・操作等の工夫 () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a) 当該事業による本来目的の効果 () () ()	(a) 当該事業による本来目的の効果 () () ()

7. 特にアピールしたい点
荷さばき地を拡張しターミナルゲートの新設(増設)及び車両の待機スペース確保により、入場する車両の処理能力を向上させ、道路上に滞留していた車両をターミナル内に収容することができ、滞留車両の状況が改善される。 さらに新・港湾情報システム(CONPAS)の運用開始により、ゲート前混雑の解消やターミナル滞在時間の短縮を図ることにより、万博開催に伴う交通量増大の対策に寄与する。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



大阪港夢洲コンテナターミナル

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

【事業内容】

大阪港夢洲では2025年4月から大阪・関西万博の開催が決定しており、万博開催期間中の交通量の増大により、円滑な交通が阻害される恐れがあることから、万博来場車両のみならず、物流車両についても交通円滑化の対策が必要となっている。本事業では、荷さばき地エリアの拡張及びゲートの新設(増設)を実施することで課題に対応するための対策を実施したものである。



臨港道路車両滞留状況

【荷さばき地拡張・ゲートの新設(増設)】

夢洲コンテナターミナルでは、ターミナルの規模からコンテナ貨物の年間取扱貨物量が頭打ちとなっており、コンテナ貨物の取扱能力を向上させるためにはコンテナの蔵置・受け渡し等を行う荷さばき地の拡張が必要であった。また、コンテナ蔵置エリアを単純に拡張するだけでは、ゲートの処理能力がボトルネックとなり、道路上の滞留車両が増加するため、荷さばき地拡張にあたっては、「ゲートの増設」「待機レーンの設置」を併せて行うことで、滞留車両を増やすことなく、コンテナ取扱能力を向上させるよう整備を実施した。



荷さばき地拡張・ゲート新設状況

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元（位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P I の方法 等）〕

【新・港湾情報システム（CONPAS）の運用】

CONPAS（Container Fast Pass）は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステムである。大阪港で実施した試験運用においては、1台当たりのトレーラー（輸入コンテナ）ゲート処理時間が約60秒削減されることが確認できた。CONPASの運用開始により、ゲート前混雑の解消やターミナル滞在時間の短縮を図ることにより、万博開催に伴う交通量増大の対策に寄与する。



CONPAS 導入イメージ

ゲート受付時の処理時間（平均）（輸入コンテナ（搬出・実入り））



CONPAS 効果検証結果